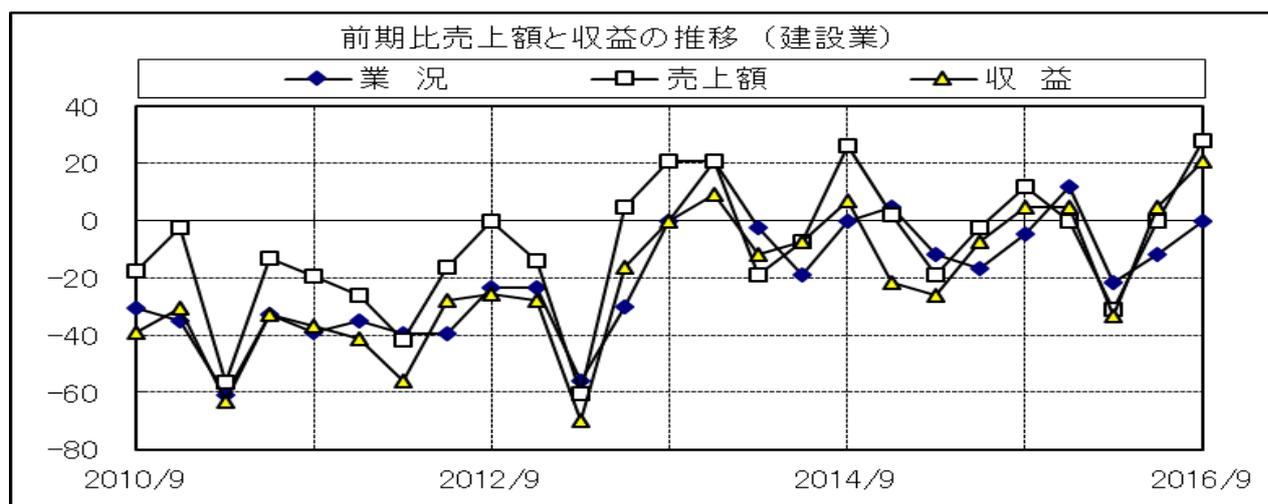


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-21.4	-11.9	0.0	-9.4
売上額	-31.0	0.0	27.9	-11.7
収 益	-33.4	4.8	20.9	-18.6

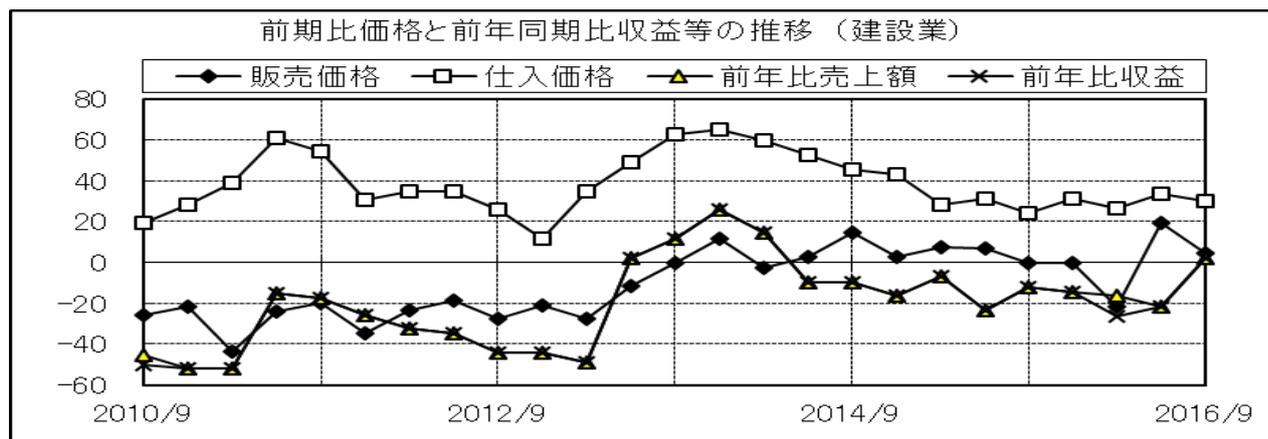
今期の業況判断 D. I. は 0.0 と、前期比 11.9 ポイント上昇し良好化した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりも、広尾、様似・静内・浦河が同率で続き、三石が最も低水準となった。前年比 ($\Delta 4.8$) では、4.8 ポイントの上昇となった。売上額判断 D. I. は、前期比 (0.0) で 27.9 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は前期比 (4.8) で 16.1 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
請負価格	-21.5	19.1	4.7	2.3
仕入価格	26.2	33.4	30.2	11.7

請負価格判断 D. I. は、前期比 (19.1) で 14.4 ポイント下降。仕入価格判断 D. I. は前期比 (33.4) で 3.2 ポイントの下降となった。前年比では請負価格 (前年 $\Delta 0.1$) は 4.8 ポイント上昇、仕入価格 (同 23.8) は 6.4 ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-16.6	-2.4	13.9	4.6
人手状況	-4.8	-9.5	-25.7	-18.5

残業時間判断 D. I. は 13.9 と前期比 16.3 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 25.7$ と、前期比 16.2 ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

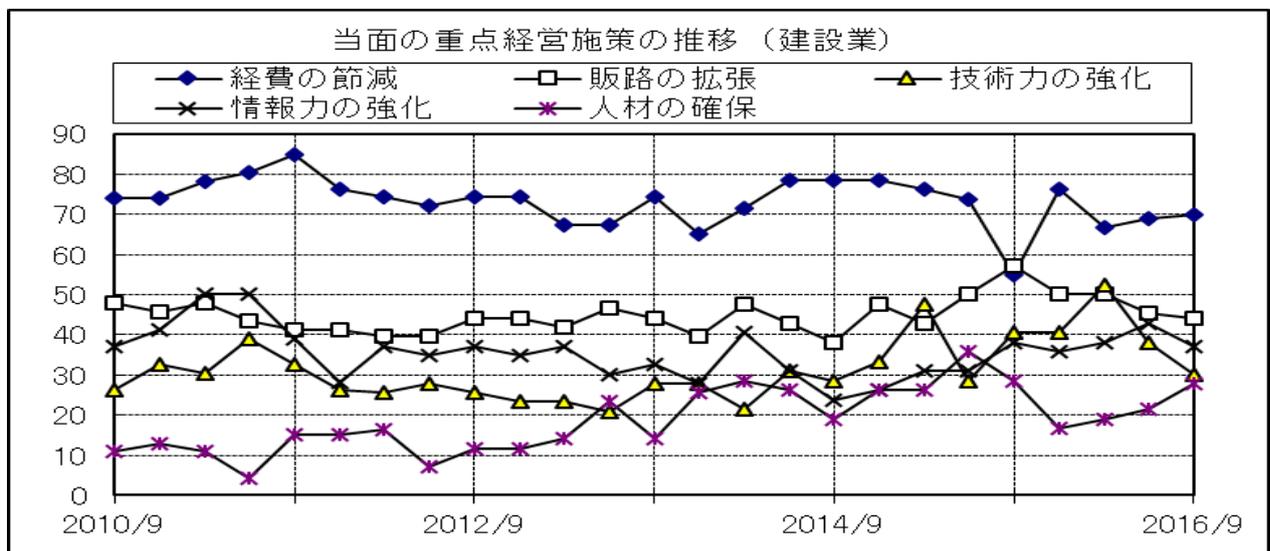
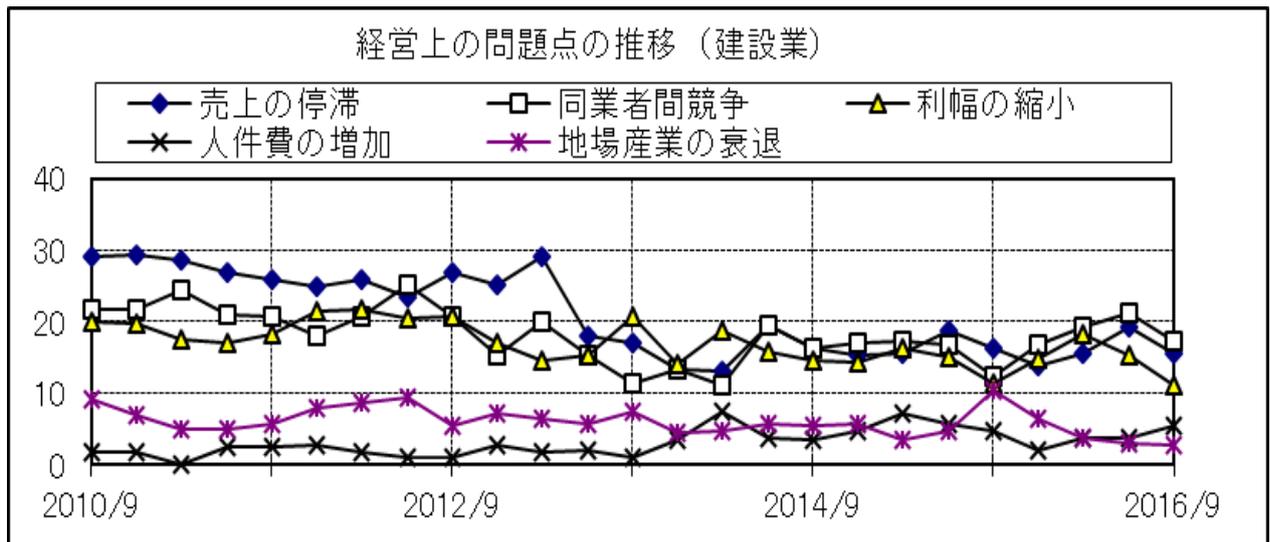
設備投資の充足感を示すD.I.は13.9で、前期比16.3ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は14.0%と、前期比0.3ポイント下降、設備投資は、前期6社と同じ6社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」17.4%、「売上停滞減少」15.6%、「人手不足」11.9%、「利幅の縮小」11.0%、「材料価格の上昇」9.2%、「大手企業との競争」「下請けの確保難」が同率の8.3%、と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」69.8%、「販路を広げる」44.2%、「情報力を強化する」37.2%、「技術力を高める」30.2%、「人材の確保」27.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△9.4と、今期比9.4ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△11.7と、今期比39.6ポイントの大幅な下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△18.6と、今期比39.5ポイントの大幅な下降を見通している。

予想請負価格判断D.I.は2.3と、今期比2.4ポイントの下降を見通している。

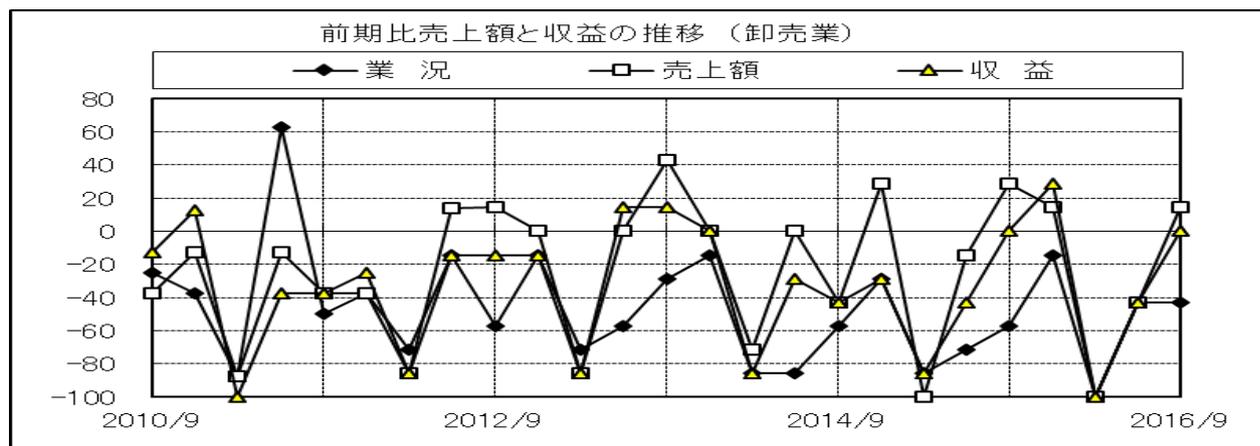
予想仕入価格判断D.I.は11.7と、今期比18.5ポイントの下降を見通している。

卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-100.0	-42.8	-42.8	-28.5
売上額	-100.0	-42.8	14.3	28.5
収 益	-100.0	-42.8	0.0	28.5

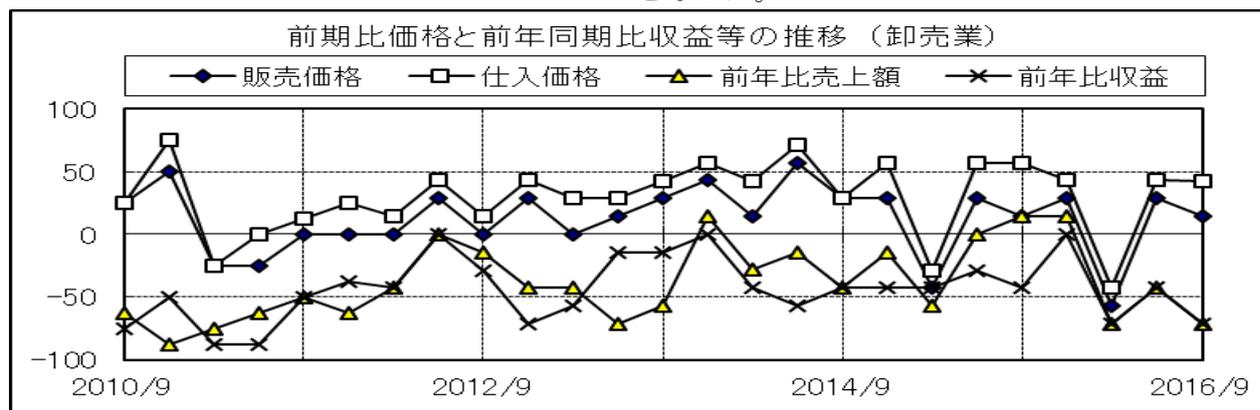
今期の業況判断 D.I. は $\Delta 42.8$ と、前期比と同水準となった。地区別の水準は、静内・浦河・様似全地区で横這となった。業況は、前年比($\Delta 57.2$)で 14.4 ポイント上昇した。売上額判断 D.I. は 14.3 と、前期比 57.1 ポイント、収益判断 D.I. は 0.0 と、前期比 42.8 ポイントそれぞれ大幅に上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	-57.1	28.6	14.3	28.6
仕入価格	-42.8	42.9	42.8	71.4

販売価格判断 D.I. は 14.3 と、前期比 14.3 ポイントの下降となった。仕入価格判 D.I. は 42.8 と、前期比 0.1 ポイントの下降となった。業種別にみると、食品が、販売・仕入価格ともに上昇した。前年比では、販売価格（前年 14.3）は同率、仕入価格（同 57.1）は 14.3 ポイントの下降となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	0.0	14.3	0.0	28.6
人手状況	28.6	-42.9	-28.6	-28.6

残業時間判断 D.I. は 0.0 で、前期比 14.3 ポイント下降した。残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D.I. は $\Delta 28.6$ と前期比 14.3 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

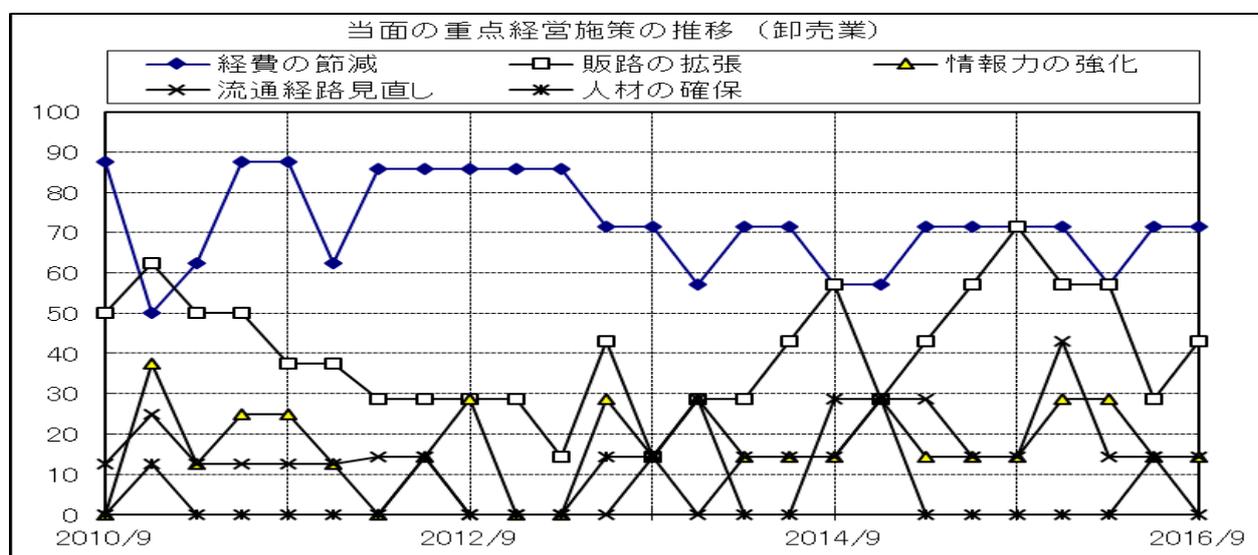
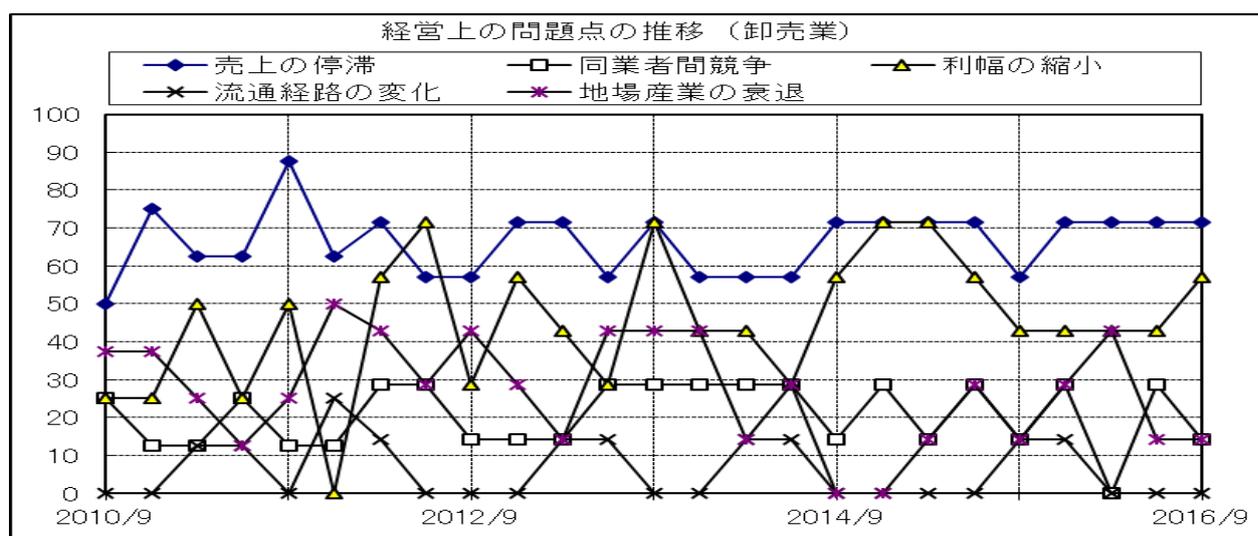
設備投資の充足感を示すD. I. は前期比横這いのゼロ水準。

設備実施企業割合は 28.6%と前期比 28.5 ポイント下降、設備投資は、前期 4 社に対し、2 社の実績となった。来期の設備投資は 2 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」57.1%、「天候不順」42.9%、「取引先の減少」28.6%、「人手不足」・「同業者との競合」・「諸経費の増加」・「地場産業の衰退」・「為替レートの変動」がともに 14.3%で続いた。

重点経営施策では、「経費を節減する」71.4%、「販路を広げる」42.9%となり、「情報力を強化する」・「品揃えを充実する」・「新事業を始める」・「流通経路を見直す」・「不動産の有効活用」・「パート化を図る」が同率の 14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△28.5で、今期比 14.3 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は 28.5で、今期比 14.2 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は 28.5で、今期比 28.5 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は 28.6で、今期比 14.3 ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は 71.4で、今期比 28.6 ポイントの上昇を見通している。